

7 社会資本整備の推進

(3) 防災・減災に資する社会資本整備の推進【創造的復興関係】

国への提案事項

1 インフラ強靱化の推進

近年、災害が激甚化・頻発化していることなどから、インフラや県土の強靱化を着実に進められるよう、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」を含めた十分な予算確保と、5か年加速化対策完了後も、中長期的見通しのもと、必要な予算・財源を計画的かつ安定的に別枠で確保するなど、制度設計について十分に配慮すること。

2 被災地の早期復旧・再度災害防止の推進

平成30年7月豪雨災害、令和3年7月・8月豪雨災害等、毎年のように頻発する災害の被災地の早期復旧・再度災害防止を推進するため、改良復旧事業や県が行う砂防激甚災害対策特別緊急事業等の推進、直轄による特定緊急砂防事業等の推進については、特段に配慮するとともに、これらの事業を円滑に実施できるよう、財政措置の拡充を図り、地方の財政負担の軽減に配慮すること。

<平成30年7月豪雨災害>

災害復旧事業(決定額)

公共土木施設	[県] 2,550箇所630億円 [市町] 2,930箇所355億円(広島市を除く)
農林業施設	5,574箇所257億円

改良復旧事業等

河川	[県]二級河川沼田川等 河川激甚災害対策特別緊急事業 一級河川三篠川 災害復旧助成事業
----	--

土砂災害防止施設等

砂防 (激特事業等)	[国]広島西部山系・安芸南部山系特定緊急砂防事業 (広島市安佐北区口田南・呉市天応等9地区) [県]砂防激甚災害対策特別緊急事業等 (坂町小屋浦等130箇所)
治山	[県]呉市安浦町中畑等176箇所

<令和3年7月・8月豪雨災害>

災害復旧事業(決定額)

公共土木施設	[県] 930箇所188億円 [市町] 674箇所61億円(広島市を除く)
農林業施設	1,185箇所47億円

改良復旧事業等

河川	[県]一級河川多治比川・二級河川本川浸水対策重点地域緊急事業 二級河川三津大川 災害復旧助成事業
----	---

土砂災害防止施設等

砂防	[国]特定緊急砂防事業 (広島市安佐南区山本町等3箇所) [県]砂防事業(再度災害防止) (北広島町本地等4箇所)
治山	[県]災害関連緊急治山事業(北広島町南方天満等5箇所)

7 社会資本整備の推進

(3) 防災・減災に資する社会資本整備の推進

国への提案事項

① 河川改修等による対策やため池の防災工事等の推進

河川	河川改修	[国直轄]太田川, 江の川, 芦田川等 [県事業]手城川, 瀬戸川, 福川, 内神川, 中畑川, 府中大川, 国兼川, 入野川, 河川メンテナンス事業等
	地震・高潮対策	[県事業]京橋・猿猴川, 瀬野川, 藤井川
ため池	ため池改修	[県事業]茂浦池等

② 土砂災害防止施設等の整備推進

砂防, 急傾斜地崩壊対策	[国直轄]広島西部山系直轄砂防事業 [県事業]砂防事業, 急傾斜地崩壊対策事業
治山	[国直轄]民有林直轄治山事業 [県事業]治山激甚災害対策特別緊急事業, 復旧治山事業

③ 高潮・津波対策等による治水対策, 港湾における耐震強化岸壁及び防災拠点の整備の推進

海岸	高潮対策	[国直轄]広島港海岸(中央西, 中央東) [県事業]広島港海岸(江波, 坂, 廿日市南地区), 福山港海岸(江之浦地区), 呉海岸(天応地区), 地御前漁港海岸(地御前地区), 倉橋海岸(本倉井地区)等
	耐震(減災)対策	[国直轄]広島港海岸(中央西, 中央東地区) / [県事業]尾道糸崎港海岸(機織地区)
港湾	耐震強化岸壁	[国直轄]広島港(宇品地区)
	防災拠点	[県事業]尾道糸崎港(松浜地区)

④ 緊急輸送道路の整備推進・機能強化

緊急輸送道路	道路改良等による機能強化	[国直轄等]広島呉道路(4車線化), 一般国道2号廿日市大野防災(越波対策)等 [県事業](国)432号 竹原BP, (主)呉平谷線, (主)瀬野川福富本郷線, (臨)廿日市草津線(4車線化)等
	法面防災対策の実施	[県事業] (国)182号(神石高原町新免~油木), (国)183号(庄原市西城町熊野), (国)433号(安芸太田町加計)
	橋梁耐震補強の推進	[県事業] (国)186号 翠橋, (国)375号 新大渡橋, (国)487号 早瀬大橋, (一)廿日市港線 藤掛陸橋

【提案先省庁:内閣府, 総務省, 財務省, 農林水産省, 国土交通省】

7 社会資本整備の推進 (3) 防災・減災に資する社会資本整備の推進

①-1 河川改修等による治水対策の推進

現状

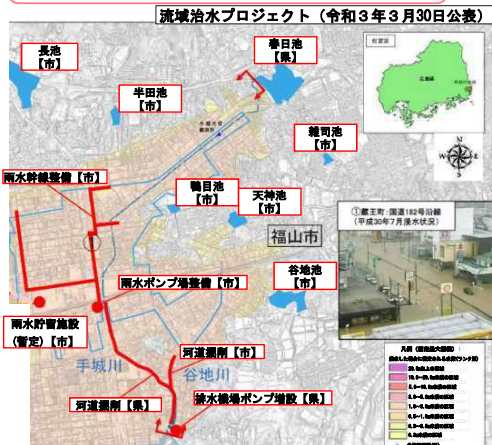
- 県内には治水安全度の低い中小河川が多く、豪雨などによる家屋等浸水被害が繰り返されているほか、人口・資産の集積する沿岸部では、異常高潮や、地震に伴う津波による浸水被害も懸念されている。
- 排水機場のポンプやダム設備等の老朽化が進んでおり、継続的な機能確保が重要である。

課題

- 平成30年7月や令和3年7・8月の豪雨災害への対応として実施する大型プロジェクト事業を着実に進めるとともに、気候変動により激甚化・頻発化する豪雨へ対応するため、「流域治水」を推進する中で、重点的に予算配分し、効果的な事前防災を加速させることが必要。
- 人口・産業が集積する中四国最大の都市を抱える太田川下流域については、上流部でのダム等による洪水調節機能の向上等の対応が必要。
- 特定都市河川に指定される江の川上流域及び本川流域における流域水害対策計画の策定及び他河川についても指定に向けた検討が必要。
- 排水機場やダム設備の長寿命化計画に基づく機器更新等に必要額を配分し、計画的な機能維持を図ることが必要。

① 手城川 大規模特定河川事業・河川メンテナンス事業

ポンプ増設・河川改修の実施
⇒内水排除対策(福山市)と連携し、床上浸水被害を解消



② 中畑川 河川改修事業(交付金)

河道拡幅・流木対策の実施
⇒流下能力を向上させ、家屋浸水被害を解消



③ 多治比川 浸水対策重点地域緊急事業(交付金)

河道拡幅・堤防強化の実施
⇒流下能力向上や堤防強化により、家屋浸水被害を解消



①-2 ため池の防災工事等の推進

現状/広島県の取組

- 農業用ため池は、農業用水の確保に加え、洪水調節や生物の生息環境の提供などの機能も併せて発揮している。
- 一方で、豪雨などの異常気象の発生が増加する中、利用者の減少に伴い管理が行き届かないため池の増加、施設の老朽化等に加え、下流域の宅地等の増加等、防災面の課題が増加している。

- 広島県内には、防災重点農業用ため池が6,846箇所(全国平均の約6倍)あり、中長期的な視点から計画的に進めていく必要がある。

防災重点農業用ため池数	都道府県数
2,000以上	6
~2,000	12
~1,000	10
~500	19

都道府県平均:1,162箇所

- ため池対策の推進状況
 - ◇ 住民の**迅速な避難行動**につなげるための対策
→ため池マップにより決壊による浸水想定区域を周知
 - ◇ 農業利用するため池の**管理強化と補強**対策
利用しなくなったため池の**統合・廃止**対策
→補強・廃止工事の計画的な推進。
※R3:66箇所完了。R7までに330箇所を完了予定
→広島県ため池支援センターによる研修、現地パトロール
※劣化診断により対象箇所が増加見込(R5以降)

7 社会資本整備の推進 (3) 防災・減災に資する社会資本整備の推進

課題

● 防災対策等に係る予算の確保

- ・ハード・ソフト両面からの対策が計画的に進むよう、予算を継続して確保することが必要である。
- ・補強工事の段階的な推進、廃止に伴う下流水路の整備など、地域の実態に即したきめ細かな対策が重要である。



● 適正管理による安全性の向上への支援

- ・診断を通じて劣化が進んだため池が多数確認される見通しであるため、広島県ため池支援センターの取組を拡大・充実する必要がある。
- ・緊急時に迅速な対応ができるよう、デジタル技術を活用した事務の効率化を図っていく必要がある。



● 公益的機能の評価と支援策の創設

- ・一時的にため池へ雨水を貯留するなど、社会的な意義や発揮される公益的機能への貢献を踏まえた支援策を充実させることが必要である。

7 社会資本整備の推進

(3) 防災・減災に資する社会資本整備の推進

② 土砂災害防止施設等の整備推進

現状

- 国や市町と連携し、「平成30年7月豪雨災害 砂防・治山施設整備計画」により砂防堰堤等の再度災害防止事業を推進。
- 「ひろしま砂防アクションプラン2021」に基づき、防災拠点や住宅密集地、インフラ・ライフライン等を保全する施設整備に取り組み、効果的な事前防災対策を着実に推進。
- 令和3年8月豪雨においても、砂防堰堤が土石流や流木を捕捉し、被害を防止・軽減する効果を発揮。
- 近年の気象災害の激甚化・頻発化に伴う土砂災害の頻発に加え、土砂・洪水氾濫の発生に伴う広域かつ大規模な被害も発生。



土砂・洪水氾濫の発生状況(呉市天応)

課題

- 令和5年度の完成に向け、砂防激甚災害対策特別緊急事業の実施及び必要な予算を確保することが必要。
- 県内の土砂災害警戒区域総数が、約4万8千箇所と全国で最も多く、事前防災対策の着実な推進が必要。
- 土石流を捕捉後、砂防堰堤の機能復旧に必要な除石が速やかに実施できるよう、柔軟で機動的な財政措置が必要。
- 複雑で複合的な災害事象である土砂・洪水氾濫対策には高度な技術を要するため、直轄事業による対応を含めた国の支援を得ながら効果的な対策を進めることが必要。



山岡西川隣 砂防激甚災害対策特別緊急事業(三原市)

③ 高潮・津波対策等による治水対策、 港湾における耐震強化岸壁及び防災拠点の整備の推進

現状

- 人口、資産の集積する沿岸部において、平成16年の台風16号・台風18号による大規模な高潮災害が発生
- 発生が危惧されている南海トラフ巨大地震等に伴う対策を進める必要がある

7 社会資本整備の推進

(3) 防災・減災に資する社会資本整備の推進

課題

- 過去に浸水実績のある河川及び海岸の高潮災害に対する安全性の早期向上
- 背後地がゼロメートル地帯である市街地等の緊急性の高い地域において、最大クラスの地震への対応

広島県西部地域(広島港, 京橋・猿猴川, 瀬野川)



東部地域(尾道糸崎港, 福山港, 藤井川)



7 社会資本整備の推進

(3) 防災・減災に資する社会資本整備の推進

④ 緊急輸送道路の整備推進・機能強化

現状

- H30年7月豪雨やR3年7月・8月豪雨では、県内各地で豪雨による法面崩壊や落石が頻発
- 緊急輸送道路が被災し、物資輸送機能が麻痺
- 通行止め等により社会経済活動に多大な影響

課題

発災後の迅速な救命・救急活動や円滑な復旧を支えるため、道路改良、法面防災対策、橋梁の耐震補強等による緊急輸送道路の更なる機能強化

広島県道路4車線化、(主) 呉平谷線など道路改良等による機能強化推進



法面对策の整備推進

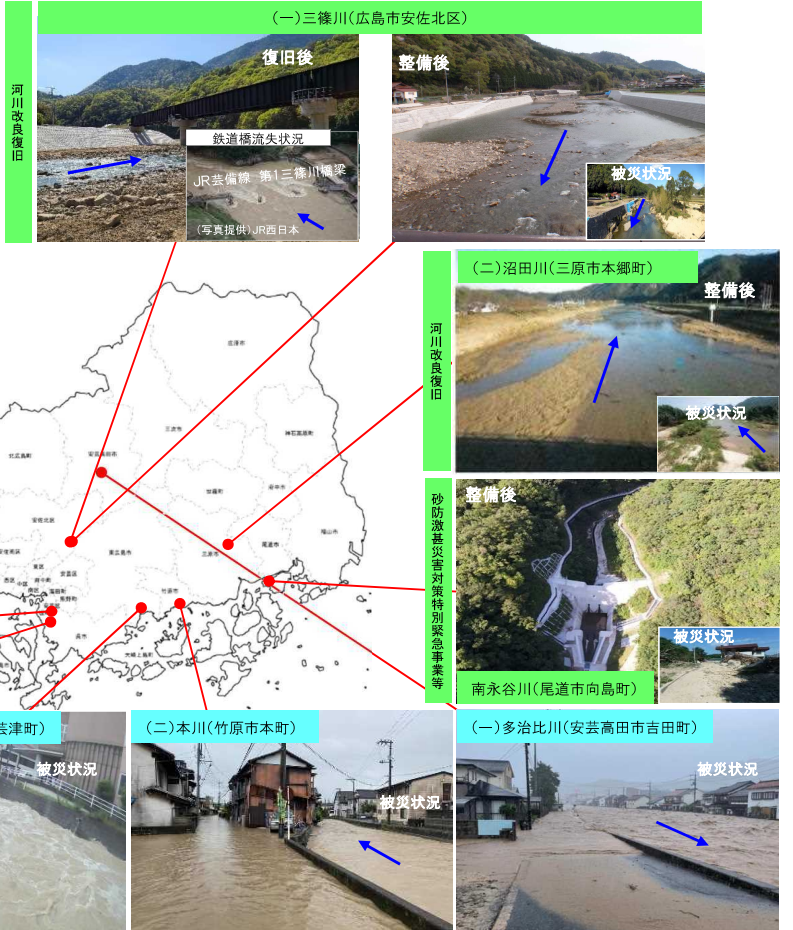


橋梁(跨線橋, 跨道橋, 渡海橋)の耐震補強推進



平成30年7月豪雨災害, 令和3年7月・8月豪雨災害 主な被災箇所の復旧工事状況

区分	箇所数等	工事完成(予定)	
		箇所数	年度
平成30年7月豪雨災害	砂防	125	R5年度
	急傾斜	5	R5年度
	治山	176	R5年度
令和3年7月・8月豪雨災害	改良復旧	2	R5年度
	改良復旧	河川	三津大川 R6年度
		河川	本川 R8年度
河川		多治比川 R9年度	



7 社会資本整備の推進

(4) 道路ネットワークの整備促進等

国への提案事項

ポストコロナ時代の「新たな日常」を実現するとともに、地方創生及び国土強靱化を推進し、ストック効果を早期に発揮させるため、次に掲げる項目を計画的かつ着実に実現すること。

- 1 広域ネットワークを形成する高速道路の機能強化・直轄国道バイパスの整備促進
- 2 地域活性化を促す道路整備と戦略的な維持管理・更新のための財政措置
- 3 都市基盤を強化し、安心して快適に暮らせる持続可能なまちづくりに資する街路事業の推進
- 4 道路予算総額の安定的な確保及び補助制度の拡充

主な国直轄事業等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 一般国道2号 西条バイパス(4車線化)の早期事業化 ※赤下線:重点要望箇所 ○ 一般国道2号 広島南道路(明神高架) ○ 一般国道2号 広島南道路(木材港西～廿日市) ○ 一般国道2号 広島南道路(商工センター～木材港西)の早期事業化 ○ 一般国道2号 福山道路, 及び未事業化区間の早期事業化 ○ 一般国道2号 道照交差点改良(立体交差化) ○ 広島呉道路(4車線化) ○ 広島呉道路と東広島・呉自動車道の接続区間の計画の早期具体化 ○ 国道31号 呉駅交通ターミナル ○ (仮称)八本松スマートIC ○ 山陽自動車道の機能強化(車線数の増加)
主な県事業	<ul style="list-style-type: none"> ○ 高規格道路 東広島高田道路(向原吉田道路) ○ 高規格道路 福山環状道路(福山西環状線) ○ 主要地方道 福山沼隈線(ICアクセス) ○ 主要地方道 鞆松永線(通学路緊急対策) ○ 都市計画道路 山手赤坂線(通学路緊急対策) ○ 自転車のための走行環境整備(しまなみ海道サイクリングロード等)

7 社会資本整備の推進 (4) 道路ネットワークの整備促進等

国への提案事項

西条バイパス(4車線化)の早期事業化

広島南道路

- ・明神高架の整備促進
- ・木材港西～廿日市の整備促進
- ・商工センター～木材港西の早期事業化



凡例	供用済	事業中	調査中
バイパス線	●	●	○
高規格道路	●	●	○
一般広域道路	●	●	○
構想路線	—	—	○
県道等	—	—	○



【提案先省庁: 財務省, 国土交通省】

7 社会資本整備の推進 (4) 道路ネットワークの整備促進等



一般国道2号 西条バイパス(4車線化)の早期事業化

一般国道2号 広島南道路 明神高架及び木材港西～廿日市の整備促進, 商工センター～木材港西の早期事業化

現状

- 一般国道2号(現道)等幹線道路の渋滞による物流の信頼性低下
- 広島都市圏周辺に多くの産業団地が立地, さらに広島港五日市地区に新たな団地造成中
- 事故や大雨等による高速道路の交通渋滞等の影響を受ける空港アクセス

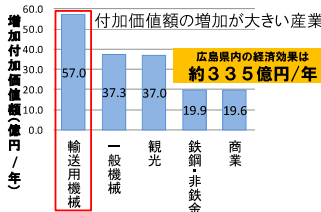
課題

- 国道2号をはじめとする幹線道路の慢性的な渋滞を解消し, 企業等の生産性向上に資する人流・物流ネットワークの構築が必要
- コロナ禍でも大型車通行量は約1～2割減に留まっており, 物流は有事でも提供し続けなければならない業務



東広島廿日市道路整備による地域経済への効果予測

自動車産業等の成長に貢献



7 社会資本整備の推進 (4) 道路ネットワークの整備促進等



一般国道2号 福山道路の整備促進及び未事業化区間の早期事業化

現状

- 福山都市圏は瀬戸内海地域の中核的な工業拠点
- 重要港湾福山港の機能強化(ふ頭再編改良事業着手)
- 福山市中心部に主要渋滞箇所が集中
- 福山市西部地区及び北部の産業団地と産業集積地, 福山港とのアクセスが脆弱



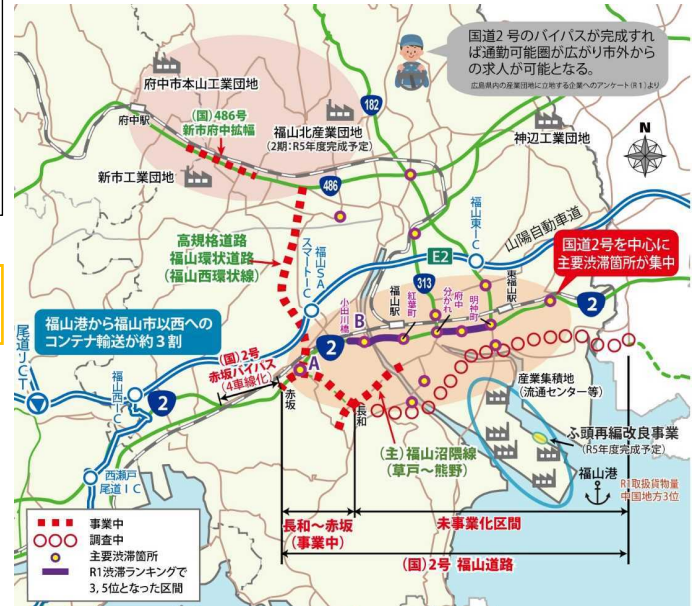
一般国道2号渋滞ランキング(R1)

順位	渋滞損失時間*	市区町村	区間名
1	124	広島市	東雲インター入口交差点～出汐町交差点
2	98	倉敷市	大西交差点付近～中新田交差点
3	94	福山市	紅葉町交差点～小田川橋交差点
4	74	岡山市	バイパス豊成交差点～青江交差点
5	72	福山市	明神町交差点～府中分かれ交差点

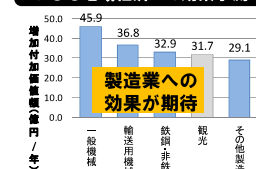
出典: 渋滞ワーストランキングのとりまとめ(平成31年・令和元年)(国土交通省)より作成
※渋滞損失時間: 混雑により余計にかかる時間(単位: 万人・時間/年)

課題

福山市中心部の渋滞を緩和し, 企業等の生産性向上に資する道路ネットワークの構築が必要



倉敷福山道路(全線供用)整備による地域経済への効果予測



7 社会資本整備の推進

(4) 道路ネットワークの整備促進等

【交通安全対策補助】令和3年合同点検の危険箇所の整備推進

広島県内の子どもの交通事故発生件数

H26～通学路交通安全プログラムに基づき安全対策を実施
R4～交通安全補助による安全対策の推進

事故が7割減少

道路管理者が実施する対策の進捗状況(R4.9末時点)

項目	対策箇所	対策済
県管理の対策箇所	235箇所	88箇所
歩道整備・交差点改良等	132箇所	10箇所
防護柵・狭さくの設定 区画線の設置・カーブ鏡 その他等	103箇所	78箇所

⇒令和4年度末すべて完了目標

通学路の通過交通多
(主) 萩松永線 (福山市)

歩道がなく危険
(都) 山手赤坂線 (福山市)

【道路メンテナンス補助】判定区分Ⅲ・Ⅳの修繕推進

1巡目点検で健全度Ⅲ判定橋梁の修繕着手・完了状況

1巡目の橋梁点検(H26-30)の結果、健全度Ⅲの橋梁が448橋(全数4,140橋)

令和3年度末時点
修繕着手率78%
修繕完了率42%

令和7年度までに
修繕完了率100%
を目標に事業推進

新技術の積極的な活用
ドローンによる点検

国道433号式敷大橋 修繕後

【自転車活用】サイクルツーリズムのための走行環境整備

- 平成31年3月に自転車活用推進計画を策定 県内7市町で策定(R4年3月末時点)
- 令和元年11月しまなみ海道ORがナショナルサイクルルートに指定
- 令和4年3月にしまなみ海道の自転車通行料金無料化の期間が「令和6年3月末まで」延長
- 「サイクリングしまなみ2022」令和4年10月開催

走行環境の整備状況

歩行者と分離された自転車通行空間
路面標示(矢羽)の設置

「サイクリングしまなみ2022」ポスター

【社会資本整備総合交付金】道路整備に必要な財源確保

- 地域間を結ぶ道路や生活に密着した道路など、連携機能や生活利便性を高め、地域の自立と活性化に資する道路整備
- 観光地へのアクセス性を強化し、集客・交流機能を高める道路整備

道路整備イメージ

都市部: 都市的サービス、高産物等一大消費地
中山間地域: 山から自然環境、観光地等生活地
観光地: 観光地へのアクセス性を強化し、集客・交流機能を高める道路整備
未開発地域の整備: 観光地間の交通によるバスの特設性確保

国道375号(三次市)
国道487号(江島市)

離合困難

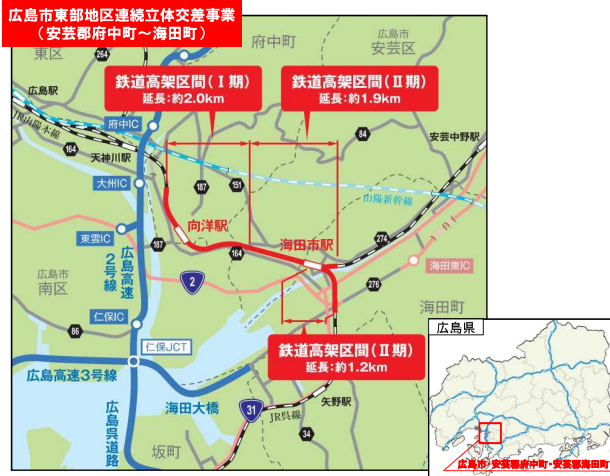
7 社会資本整備の推進

(5) 交通の円滑化などによりまちづくりを促進する連続立体交差事業の推進

国への提案事項

広島市東部地区連続立体交差事業の着実な推進に必要な財政措置

交通の円滑化，市街地の分断の解消及び踏切の除却による安全の確保を実現し，まちづくりを促進する連続立体交差事業の実施には，長期的に多額の事業費が必要であるため，着実な事業推進に必要な財政措置を行うこと。



鉄道高架と関連街路の整備イメージ(広島市安芸区付近)

【提案先省庁:財務省,国土交通省】

現状

【地域の状況】

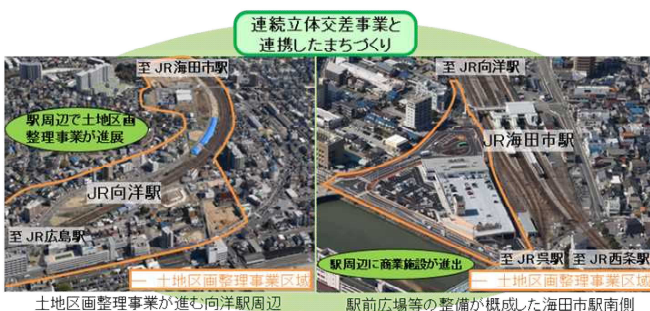
- 広島都市圏東部地域では，鉄道による市街地分断が効率的な基盤整備を阻害
- 事業区間には踏切が多数(16箇所)あり，その内「踏切道安全通行カルテ」における緊急に対策の検討が必要な踏切は5箇所，1時間あたり最大30分以上遮断される踏切が10箇所ある等，踏切遮断による交通渋滞及び踏切事故が日常生活や経済活動に大きく影響

【取組の状況】

- 1期区間において，向洋駅仮跨線橋及び北口仮駅舎を令和4年3月末に供用開始するなど，仮線路工事を進めており，令和12年度の完了を目指して，国・県・市町・JRで連携し整備を推進中
- 周辺地域の一体的な街づくりに資する関連街路事業や土地区画整理事業等を合わせて実施

【国の対応状況】

- 令和元年度より連続立体交差事業の個別補助制度を創設



7 社会資本整備の推進

(5) 交通の円滑化などによりまちづくりを促進する連続立体交差事業の推進

課題

- 1 多数ある緊急に対策の検討が必要な踏切等の解消には
 - 広島市東部地区連続立体交差事業の完成が必須
- 2 広島市東部地区連続立体交差事業の実施には
 - 長期的に多額の事業費が必要
 - 着実に事業推進できる財政措置が必要
 - 財政状況の厳しい地方負担の軽減が必要



- 【凡例】
- 除却踏切
 - 緊急に対策の検討が必要な踏切(5箇所)
〔踏切道安全通行カルテ(国土交通省)で提出された踏切〕
 - 地域課題踏切(R1.12.25法指定)〔10箇所〕
 - その他の踏切(道路法外)〔1箇所〕

7 社会資本整備の推進

(6) 物流・交流の拠点となる港湾機能の強化

国への提案事項

- 1 広島港・福山港・尾道糸崎港について、出島地区コンテナ物流拠点をはじめとした、地域産業のグローバル化への対応など企業活動を支える物流基盤の充実・強化を図るため、着実な整備に必要な財政措置。
- 2 福山港・厳島港について、観光・交流の拠点機能の強化を図るため、着実な整備に必要な財政措置。
- 3 新型コロナウイルス感染症に関する新たな水際対策措置に合わせ、外国船によるクルーズの早期再開に向けた諸規定やガイドライン、運用ルール等の整理。

提案箇所一覧

港名・地区名	内容
広島港 出島地区 宇品地区 五日市地区	<ul style="list-style-type: none"> ・大水深岸壁・泊地の整備【直轄】 ・岸壁(水深10m⇒12m化・耐震強化)の整備【直轄】 ・臨港道路 廿日市草津線(4車線化)の第Ⅱ期整備
福山港 箕島地区 本航路 等 鞆,原北地区	<ul style="list-style-type: none"> ・岸壁・航路・泊地(水深12m)の整備【直轄】 ・船舶の運航効率改善に係る規制緩和(余裕水深緩和等) ・企業及び地方の負担を軽減する新たな制度設計 ・福山本航路(水深16m⇒18m化)の整備【直轄】 ・浮棧橋の整備
尾道糸崎港 機織地区	<ul style="list-style-type: none"> ・泊地(水深7.5m⇒10m化)等の整備【直轄】
厳島港 宮島口地区	<ul style="list-style-type: none"> ・新ターミナル周辺の港湾施設の整備



【提案先省庁：内閣府，厚生労働省，国土交通省】

7 社会資本整備の推進

(6) 物流・交流の拠点となる港湾機能の強化

施策の背景

- 広島港・福山港・尾道糸崎港は、地域の基幹産業を支える物流・交流拠点として重要な役割を果たしている。
- 厳島港は、世界遺産「厳島神社」を有する宮島への玄関口として多くの観光客に利用されている。

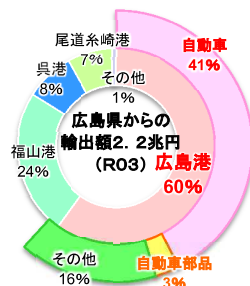
厳島港は観光地「宮島」への玄関口



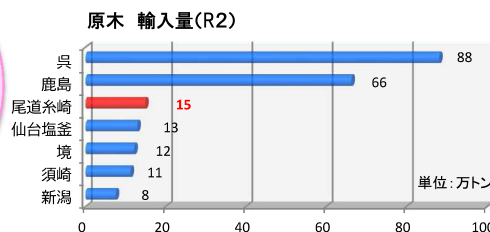
広島県は中・四国以西で有数のものづくり県



自動車関連輸出を支える広島港



尾道糸崎港は全国有数の木材取扱拠点



背後に全国有数の鉄鋼メーカーを有する福山港



7 社会資本整備の推進 (6) 物流・交流の拠点となる港湾機能の強化

課題

1 広島港コンテナ物流拠点の充実・強化のための整備に向けた取組

出島地区



現状/広島県の取組

令和元年のコンテナ取扱量は過去最高を記録しているなか、コンテナヤードや企業・倉庫用地が不足しており、利用者ニーズに対応するため物流関連用地等(約13ha)の造成を進めており、**令和5年度の分譲を目指す。**

H30.9 広島港長期構想策定

H31.3 広島港港湾計画改定

【背景】社会経済情勢、港湾物流の動向等の変化を踏まえ、将来に渡って、背後企業の産業活動を支え、地域経済の発展に貢献する港づくりを推進するため、港湾計画を改訂した。

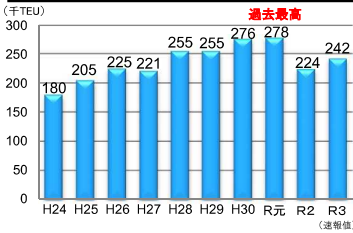
具体化に向けて

R2.3 広島港利用高度化検討会のまとめ

【戦略】地域産業の発展を支える港湾機能の強化を目指す目標
・東南アジア等へのリードタイムの短縮や輸送コスト低減に資するサービスの強化など

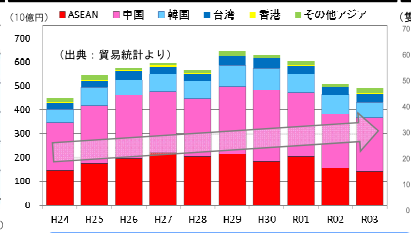
物流用地の造成と並行し外貨コンテナ物流機能の強化が必要

広島港のコンテナ取扱量の推移



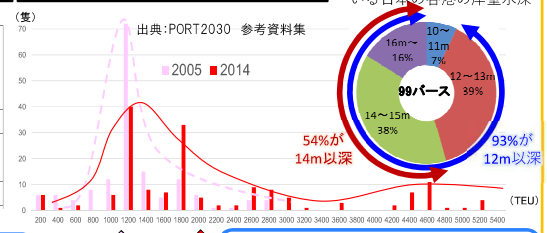
広島港におけるコンテナ取扱量は年々増加しており、**2年連続で過去最高の取扱量を更新した**

広島港のアジア取引国別貿易額の推移



広島港のコンテナ貨物の相手国における**ASEANの割合は増加傾向**となり、輸送の効率化が求められている

日本に寄港する東南アジア航路の船型変化



東南アジア航路は船舶の大型化が進行し**半数以上が14m以深の岸壁**を利用しており、**今後、更なる大型化の可能性**がある

東南アジア諸国等の貨物需要の増加やコンテナ船の大型化に対応するためには、**出島地区の大水深岸壁・泊地の早期整備が必要**

7 社会資本整備の推進 (6) 物流・交流の拠点となる港湾機能の強化

課題

2-1 地域の企業活動を支える広島港の物流基盤の充実・強化

- 五日市地区は物流関連企業の立地が増加しており、新たな企業用地を確保するため、令和4年度の完成を目指し造成を進めている。
- 宇品地区は自動車運搬船が大型化しているなか、岸壁の水深が浅く満載して輸送することが困難なため、喫水調整を余儀なくされている。

立地企業増加等により懸念される交通渋滞への対応が必要

(五日市地区)



自動車運搬船の大型化への対応が必要(非効率な輸送形態の解消)

(宇品地区)

